

シーメンスPLMソフトウェア

三菱自動車が解析業務プロセスの最適化を実現するソフトウェアを採用

シーメンスPLMソフトウェアは、三菱自動車が、CADデータとCAEデータの統合管理を実現して、解析業務プロセスの最適化と情報トレースの効率化を図るために、世界で最も広く使用されているシーメンスPLMソフトウェアの「Teamcenter」を採用したことを発表した。

三菱自動車では、高度に複雑化した今日の自動車の性能検証を確実に実施するためには、製品開発における設計業務と解析業務の同時並行的進行へのタイムリーな情報伝達の対応が必要と考え、マルチCAD対応の管理機能や製品データの一元管理機能を提供するTeamcenterのシミュレーション・プロセス管理ソリューションを採用した。Teamcenterはカスタマイズすることなくこれらの機能を提供する唯一のソフトウェアである。

Teamcenterの適用により、三菱自動車では、解析業務を最新の情報で常に正確に実施することを実現できる。また、どの時点においても解析の結果から元になっている設計データを検索したり、あるいは設計データを元にこのデータで行われた解析の結果を検索したりといった情報トレースの仕組みを構築できる。

シーメンスPLMソフトウェアの自動車・産業機械マーケティング担当シニア・グローバル・ディレクターのDave Taylor氏は、「今回、Teamcenterが三菱自動車のような自動車産業の大手企業に採用されたのは、シーメンスPLMソフトウェアが自動車産業にとって一番望まれるPLMサプライヤーであるという地位をさらに強化するものです。シーメンスPLMソフトウェアのテクノロジーは自動車産業で広く活用されています。世界の自動車メーカー上位30社中26社が、自動車の開発および製造工程において、当社のテクノロジーを使用しています」と述べている。

シーメンスPLMソフトウェア TEL：0066-3386-1032

住商情報システム

霧島酒造の新会計システムが本格稼働し、事務作業の効率化を実現

住商情報システムは、霧島酒造の新会計システムとして、「ProActive E2」が採用され、本番稼働したことを発表した。

「霧島」、「黒霧島」など、数多くの焼酎ブランドを販売する霧島酒造では、旧会計システムに次のような課題を抱えていた。①事業の成長に伴い、事務作業に掛かる業務負荷が増大していた。②管理会計の強化に向け、多面的なセグメント別にデータを管理できない。③最新のITインフラに対応できておらず、セキュリティ面における不安がある。

霧島酒造では、こうした課題を踏まえ、分散入力を実現でき、最新のアーキテクチャに対応した会計システムの導入が必要であると判断した。また、本社で集中管理を行うことができ、Web環境で利用できるERPパッケージを中心に比較検討した結果、ProActive E2を新会計システムとして採用したのである。

選定のポイントとなったのは、①今後の制度改正やITの進歩にも追従でき、永く利用できるシステムであること、②多様なセグメント管理が可能であること、セグメント別での会計情報の把握が可能であること、③直観的に入力できる画面構成やマウスレス操作が可能であること、などである。霧島酒造の堀之内課長は、「昨今の焼酎ブームも追い風となり、急速な事業拡大を続けておりますが、その事業の拡大スピードに対して、旧システムでは事務作業の効率化を行うことが難しいなど、新たな課題への対応が急務となりました。いくつかのERPパッケージを検討しましたが、ProActive E2は標準機能で弊社の業務要件を満たし、また、短期間で導入できることから、最適なシステムを選定できたと感じています」と述べている。

住商情報システム TEL：03-5166-1760

日本ベリサイン

南都銀行が法人向けインターネットバンキングのセキュリティを強化

南都銀行は、法人向けインターネットバンキングサービス「<ナント>Web-ビジネスバンキング」の新たな認証機能として、日本ベリサインが提供する「ベリサイン アイデンティティプロテクション（以下、VIP）オーセンティケーションサービス」によるワンタイムパスワード認証サービスの取扱いを開始した。

ワンタイムパスワードは、専用の生成ツールで作成され、一度利用されると無効となるパスワードである。このため、フィッシングやスパイウェア等でワンタイムパスワードが盗まれた場合でも、不正に取引される恐れがない。

南都銀行は、今回の導入により、スパイウェア、フィッシングによるパスワードの不正詐取やファイル共有ソフト等による情報漏洩などから起きるネット犯罪への対策をさらに強化し、お客様が安心してインターネットバンキングを利用できる環境を提供する。

本サービスは、お客様が、<ナント>Web-ビジネスバンキングを利用する際に、すでに南都銀行が導入しているセキュリティ対策ソフト「nProtect:Netizen」にて、利用ごとにワンタイムパスワードを生成し、日本ベリサインのVIPオーセンティケーションサービスにより本人認証を行うという仕組みである。本サービスの特長は次のとおり。①<ナント>Web-ビジネスバンキングを利用するお客様が、南都銀行のホームページから簡単な登録を行うだけですぐに利用できる。②初期手数料、月間利用料の負担はなく、無料で利用できる。③ワンタイムパスワードはパソコン上で生成されるため、パスワードを生成する機器や装置を管理する手間が省ける。④ワンタイムパスワード生成ソフトをパソコンに保有するため、<ナント>Web-ビジネスバンキングの操作を行うパソコンを1台に特定することができる。

日本ベリサイン TEL：03-3271-7014

オーク情報システム

広島市役所が情報漏洩防止対策に暗号化ソフトを採用

広島市役所では、パソコンの紛失・盗難からの情報の漏えい防止を行うため、オーク情報システムが開発・提供する暗号化ソフト「CyberCrypt Pro」を採用した。

これまでの暗号化ソフトでは、暗号鍵の管理が煩雑であるなど「使い勝手の悪さ」があったが、CyberCryptは、「マスターキー」という概念を持ち、かつパスワード（パスワード）の共有のみでグループ鍵の共有ができるため、運用が簡単でかつ導入が簡単、しかも低価格という特長も備えている。

CyberCrypt Proは、パソコンのドライブやフォルダに記録される情報を自動的に暗号化し、アプリケーションからは暗号化を意識しないで自由に読み書きできる。そして、ログインしない限り、書き込まれた暗号化状態の情報を復号して見ることができない機能を提供し、パソコンが紛失・盗難にあっても情報が漏えいしない仕組みを提供している。CyberCrypt Proの主な特長は次のとおりである。

◆**低価格**：利用規模毎に価格設定されているため、導入コストが明確である。また、導入後の管理・運用コストがほとんどかからない。

◆**HDDを丸ごと暗号化**：ノートPCやUSBメモリなどを万一紛失してしまっても、情報はすべて暗号化されているので安心である。

◆**社外の相手にCyberCryptがなくても使える**：暗号化ファイルをメールに添付して送信後、共用パスワードを別途連絡すれば、暗号化ファイルを自己復号できる。

◆**利用ポリシーの設定**：利用方法を規定するポリシーを設定して、利用シーンを想定したカスタマイズが可能。

なお、本件の販売、納入を担当したのは、広島情報シンフォニー社である。

オーク情報システム TEL：03-5247-3200

CTC

静岡大学の指静脈認証統合システムを
NTT西日本、FDSと共同で構築

静岡大学は、学生、教職員および関係者約20,000人が使用する学内情報基盤システムと、建物や研究室の入退室管理を一元化した「生体認証統合システム」の実運用を開始した。これは、建物・研究室などの出入口に設置される「指静脈・ICカード認証装置」と、静岡大学の学内情報システムが設置されているクラウドコンピューティングセンター内のシステムを連携させた国公立大学では初めての例である。

これまで、情報システムにログインする場合と、学内の主要個所への入退室を行う場合はそれぞれ異なる認証手段を用いなければならなかった。しかし、今回開発したシステムにより、「利用者自身のみ」が有する指静脈情報で入退室から情報システムの利用がシームレスで可能となった。その結果、教職員の出退勤管理、授業の出欠管理、証明書の自動発行などが簡単に自動化できるようになるとともに、なりすましや偽造の危険性のない、堅牢で安全な情報システム基盤が整備された。

静岡大学では「指静脈認証」の研究を進め、今回の統合認証システムに全面的な採用という成果に結びつけた。今回導入した「生体認証統合認証管理システム」は指静脈での入退室と情報システムへのログイン認証を連携したシステムである。今後、静岡大学は、20,000人の利用者の指静脈情報登録を推進し、2010年度中にはほぼ全員が登録完了する見込みである。また、指静脈認証装置は数年以内に学内のほとんどの主要建物・フロア・研究室・教室など約700ヶ所に設置する予定だ。

本システムの構築は、NTT西日本静岡支店とフィット・デザイン・システム（FDS）、伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）が担当した。今回実現した様々な技術、運用はそのまま企業や自治体などの他の組織に適用可能なことから、積極的な営業展開を行う予定だ。

伊藤忠テクノソリューションズ(株) TEL：03-6203-4100

NEC

「スケーラブルHAサーバ」を
東北大学サイバーサイエンスセンターに納入

NECは、最新の8コアプロセッサ「インテル Xeon プロセッサ 7500番台」を搭載したスケーラブルHAサーバ「Express5800/A1080a」を製品化し、販売活動を開始した。本製品は、8コアの高性能CPUを最大8個（64コア）搭載可能で、従来比約2倍の処理速度と高い拡張性を実現している。また、システムの仮想化においてボトルネックとなるメモリ容量を従来比8倍の2テラバイトまで拡大した。さらに、可用性を強化するサポートサービスも拡充した。このような特長を持つ本製品は、企業の基幹システムだけでなく、科学技術計算向けにも利用できる。

今回、先行ユーザーとして、東北大学サイバーサイエンスセンター（宮城県仙台市）の大規模科学計算システムに、HPCクラウドのサービス基盤として納入された。

本製品の特長は次のとおり。

◆**高性能**：メインフレームやハイエンドサーバ開発で培った部品の高密度実装により、7Uの筐体に最大8CPU（64コア）まで拡張可能で、従来比約2倍の高い処理性能を実現。トランザクション性能を測定する業界標準ベンチマークテスト「TPC-Eベンチマーク」において世界最高記録を達成（2010年4月8日現在）。

◆**高拡張性、柔軟性**：7Uの筐体内で4CPUサーバ1台、クラスタ構成の4CPUサーバ2台、8CPUサーバ1台など、システム規模や用途に応じた柔軟なシステム構成が可能。従来比8倍の最大2TBまでメモリ搭載ができ、仮想化でボトルネックとなるメモリ容量の制約を解消し、1台の物理サーバに多数の仮想サーバの構築が可能。

◆**可用性を強化するサポートサービス**：システム障害発生時に、ハードウェアとソフトウェアの区別なくワンストップでサポートを提供する「プラットフォームサポート」に対応。

NCE ファーストコンタクトセンター
TEL：03-3455-5800

日本オラクル

ベネッセコーポレーションが 情報系基盤に「Exadata V2」を採用

日本オラクルは、同社の「Oracle Exadata Version 2」がベネッセコーポレーションの顧客分析業務等に利用する情報系基盤に採用されたことを発表した。

「Sun Oracle Database Machine」は、ベネッセの会員情報やサービスの利用履歴などのデータを活用した高度な集計・分析・レポート処理を実現し、業務の効率化とさらなるサービスの向上を支援している。また、情報系基盤による顧客分析を強化し、ITの効率的な運用を実現するため、「Oracle Exadata Version 2」に加え、「Oracle Business Intelligence Enterprise Edition」と「Oracle Enterprise Manager」を採用した。

Sun Oracle Database MachineはOracle Exadata Version 2の中核をなす高速データベース・マシンである。今回、情報系基盤へのOracle Exadata Version 2を採用するにあたり、日本オラクルはベネッセコーポレーションと共同で事前の動作検証を実施し、既存システムの動作よりもパフォーマンスの大幅な改善を確認した。また、同時実行性と複数の処理が混在する疑似環境でのパフォーマンス検証（混在処理の検証）では、参照処理を多重化した場合でも安定した処理性能を発揮し、全てのテストケースにおいて事前想定を超える性能であることが確認された。

Oracle Exadata Version 2は、他社のデータウェアハウス製品との比較において、複雑化する分析要件を高速かつ多重実行できる基盤として高く評価され、ベネッセの情報系基盤に採用された。採用にあたっては、Oracle Exadata Version 2の多様な活用方法を見込まれ、データウェアハウス基盤としての用途に限定せず、セキュリティ機能が充実している堅牢なデータベース基盤としての有効活用も継続して検討している。

日本オラクル TEL : 03-6834-4836

アイシロン・システムズ

SANBORN 社が地理空間情報サービス向けに 「Isilon IQ」を採用

アイシロン・システムズは、Sanborn 社が、写真測量マッピングおよび地理情報システム（GIS）サービスの核である画像処理ワークフローを強化するため、同社のスケールアウトNASを導入したと発表した。OneFSオペレーティングシステム搭載のIsilon IQスケールアウトNASを使用し、Sanborn社は複数の画像処理オペレーションをパフォーマンスと拡張性に優れた単一の共有ストレージプールに統合した。

Sanborn社は、包括的なエンドツーエンドの地理空間情報ソリューションカンパニーである。カスタムアプリケーションによって、システムインテグレーション、空間分析およびモデリングなど、地理的なロケーションベースの情報を提供している。またSanborn社では、高解像度カメラを備えた複数の飛行機で、毎年数百～数千枚の画像を撮影している。増加し続ける顧客の需要に対応するため、また、不要なストレージ管理を排除して従来型NASシステムにかかるコスト増加を抑制するため、高パフォーマンスのストレージシステムを必要としていた。

アイシロンのスケールアウトNASを導入する前は、従来型NASシステムを使用していたが、画像処理のパフォーマンスとワークフローの生産性に限界があり、Sanborn社の画像処理ワークフローに対するパフォーマンスと拡張性のニーズに対応することができなかった。しかし、Isilon IQスケールアウトNASを導入したことで、2,000枚以下であったSanborn社の1日当たりの画像処理数が8,000～10,000枚に増加し、プロジェクトの所要期間が短縮化された。Isilon IQスケールアウトNAS導入前と比べ、画像処理速度が53%向上し、より迅速に新しい案件に対応できるようになった。

アイシロン・システムズ TEL : 03-5358-7188